

東広島市森林管理マスタープラン(案)概要版

1. 策定の趣旨

(1) 策定の目的

近年の災害の激甚化により山地災害が多発しており、森林保全の重要性が増していること及び世界的なSDGsの理念浸透などを背景に森林の価値が改めて見直されている。こうした変化に対応し、本市の豊かな森林環境を守るとともに持続可能な森林の管理・活用を進めていくことを目的とする。

(2) 計画の位置づけ

国及び県等の関連計画及び本市の特性を踏まえ、「第五次東広島市総合計画」における**森林・林業分野の部門計画**として策定する。

(3) 計画期間

令和4年度～令和13年度（10年）

(4) 策定体制

林業事業体、森林所有者、森林ボランティア団体、行政、学識経験者などで構成する「東広島市森林管理マスタープラン検討委員会」及び作業部会で検討した。

2. 国内及び東広島市の森林の状況

(1) 国内の森林をめぐる状況

木材価格の低迷から森林の荒廃が進む一方でSDGsの目標の多くに関連する森林の公益的機能に対する注目は高まっており、平成31年4月には「森林経営管理法」と「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行された。

(2) 市の森林の現状とその背景及び経緯

- ① 市域の約6割を占める森林の大半がアカマツだったが、マツ枯れにより、多様な樹種に更新途中である。
- ② 人工林の割合が7%と低く、国内及び県全体の人工林の多くが収穫期にあるのに対し、大半が保育段階で、利用可能な資源に乏しい。
- ③ 平成30年7月豪雨を契機として、森林の防災機能が再認識された。

(3) 林業・その他地域団体、ボランティア等の活動状況

- ① 3つの森林組合による林業に留まらない多様な活用。
- ② 市民・地域・企業等による主体的な森林に関する活動が行われている。

(4) 森林の活用について

産学官民連携での木質バイオマス利用・空間利用をはじめ、新しい活用の検討が進んでいる。

3. 東広島市の森づくりにおける課題

(1) 課題

- ① 市民の森林への興味・関心が薄く、活用されていない
- ② 整備されていない危険な森林があり、防災力を高めるための森林整備ができていない
- ③ 森林の情報が継承されておらず、山の状況が把握できない

(2) 課題解決のために必要な視点

都市の成長と森林を含む環境の保全を両立するには、森林・林業関係者や行政だけでなく、本市に住むすべての市民と協働していくことが重要。

ひろく市民が森林の働きを知り、親しみを持つことや、間接的なものを含み、木や森に関わっていくことで、**その価値が見直され、誇れる存在になることが必要。**

【視点と理想の姿】

- ① **価値**
市民が森林に関心を持ちつつ、主体的な森づくりや新たな発想に基づく森林の活用がされている
- ② **防災**
より災害に強い森づくりを目指した継続的な森林整備が実施されている
- ③ **継承**
所有者情報の明確化など次代に引き継ぎ、森林整備をするための基盤整備がなされている

4. 東広島市の森づくりのビジョン(基本理念と基本方針)

関連するSDGsの目標

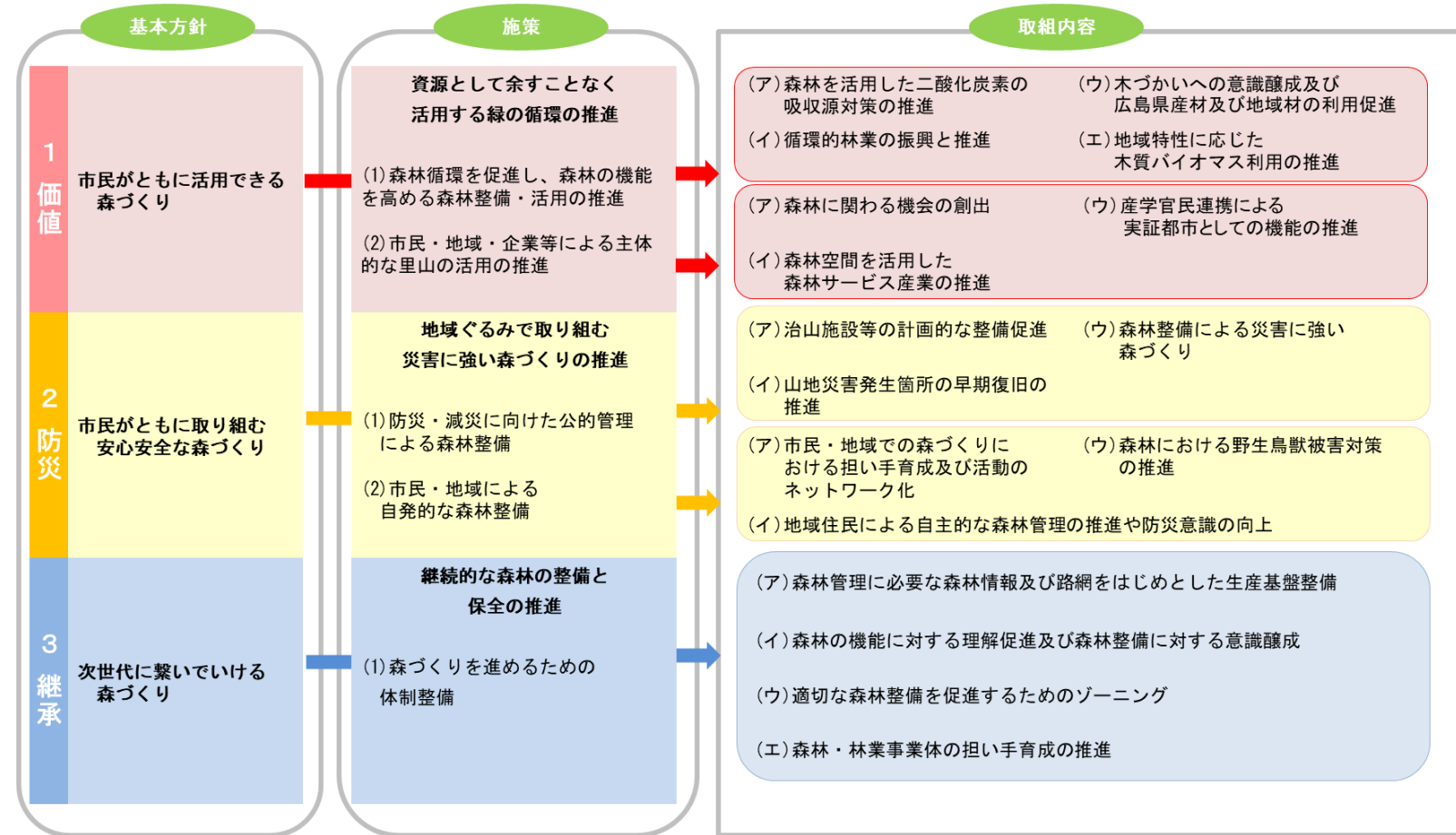


基本理念

未来につながる森づくり —市民が誇れる持続可能な東広島市の森づくり—

目指す森林の姿

持続可能な管理と活用により多面的機能が十分に発揮されている森林



5-1. 地域別森林・林業施策の振興

山間部から都市部、沿岸部を含む本市において、地域特性や、これまでの特色あるまちづくりを背景に、市域を「森林」視点で3つのエリアに分けるとともに、地域ごとの特性と森づくりの現状を踏まえ、「価値」を高める視点で、9つの地域別に今後の方向性について記載する。

市街地近郊エリア	産学官民連携や他の産業との関わり等、多様な担い手による森林活用と保全を推進するエリア	西条地域・八本松地域・志和地域・高屋地域・黒瀬地域
自然環境エリア	豊かな自然を活かした林業振興と森林活用、都市部との交流による賑わい創出に取り組むエリア	福富地域・豊栄地域・河内地域
里海エリア	観光の視点での森林活用や里山-里海の循環に繋がる環境価値の創出に取り組むエリア	安芸津地域



5-2. 地域別森林・林業施策の振興

福富

【地域の将来像】
自然と人が共生する
新たなライフスタイルに出会える交流のまち

方向性: 豊かな自然環境を活かし観光と連携した
森林資源の保全と新しい生活価値に繋がる活用

【地域特性を活かした取組】

- ・地域森林資源を活用した新しい生活価値の創造に関わる小さな循環の推進
- ・自然環境を活かした空間利用による森林に関わる機会の創出と意識醸成
- ・国有林との連携等、森林における野生鳥獣対策の推進

豊栄

【地域の将来像】
豊かな自然環境の中でゆとりある暮らしが
楽しめる体験・交流・定住のまち

方向性: 多様な担い手による主体的な里山活用と
生物多様性環境の保全

【地域特性を活かした取組】

- ・地域資源の総合的活用による木質バイオマス利用の推進
- ・自然環境を活かした空間利用による森林に関わる機会の創出と意識の醸成(賀茂プロジェクト等)
- ・生物多様性の保全に配慮した森林施業の実施(オオサンショウウオ・エヒメアヤマメ等:重要里地里山に指定)
- ・東広島市有害獣処理加工施設を活用した有害獣対策の推進による新たな価値の創出

河内

【地域の将来像】
豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を
活かしたゆとりと活力のあるまち

方向性: 多様な担い手による主体的な里山活用と
木質バイオマス資源の活用

【地域特性を活かした取組】

- ・賀茂バイオマスセンターを拠点とした地域資源の総合的活用による木質バイオマス利用の推進
- ・地域が取り組む主体的な里山活用と・学校等と連携した森林に関わる機会の創出(大道山竹炭工房・壺の郷等)

志和

【地域の将来像】
田園環境との調和やインターチェンジ等の
アクセス性・職住近接性を活かした仕事と
ともに新たな交流が生まれるまち

方向性: 多様な担い手による豊かな自然を活かした
森林環境教育や環境保全を通じた魅力発信

【地域特性を活かした取組】

- ・豊かな自然環境を活用した森林サービス産業の推進
- ・森林環境教育や木育を通じた森林に関わる機会の創出と意識醸成
(自然体験活動団体 里山学びの森・森林ボランティア団体もりゆう等)

高屋

【地域の将来像】
広域交通や様々な教育機関が整う豊かな田園と
良好な居住環境を整えたまち

方向性: 地域・大学等と連携した里山保全・整備に繋がる
森林資源の新しい活用と生物多様性の保全

【地域特性を活かした取組】

- ・地域・大学等と連携した主体的な里山活用と森林に関わる機会の創出
- ・生物多様性の保全に配慮した森林施業の実施
(西条町・造賀:重要里地里山に指定)

八本松

【地域の将来像】
先端産業と田園風景の調和や都市との近接性を
活かした良好な居住環境が整ったまち

方向性: 地域・企業等との連携による森林整備と活用

【地域特性を活かした取組】

- ・地域・企業等と連携した森づくりの推進
(セブンの森・シャープの森)
- ・自然環境を活かした森林に親しむ機会の創出と意識醸成

西条

【地域の将来像】
新たなテクノロジーによる次代の創造と
学術・研究・国際化を先導するまち

方向性: 産学官民連携による新たな木づかいと
多様な担い手による主体的な里山活用

【地域特性を活かした取組】

- ・産学官民連携等による新たなイノベーション創出
- ・公共建築物等への広島県産材等の利活用をはじめとした木づかい
- ・多様な担い手による地域の森林整備・保全の継続と推進
(西条・山と水の環境機構等)

黒瀬

【地域の将来像】
交通利便性や地域資源である大学の機能を
活かした健康・福祉と交流のまち

方向性: 地域・大学等と連携した地域住民の健康・福祉と
里山保全・整備に繋がる活用

【地域特性を活かした取組】

- ・地域・大学等と連携した健康・福祉の観点での主体的な里山活用と森林に関わる機会の創出
- ・生産森林組合による地域の共有林の森林整備と活用の推進

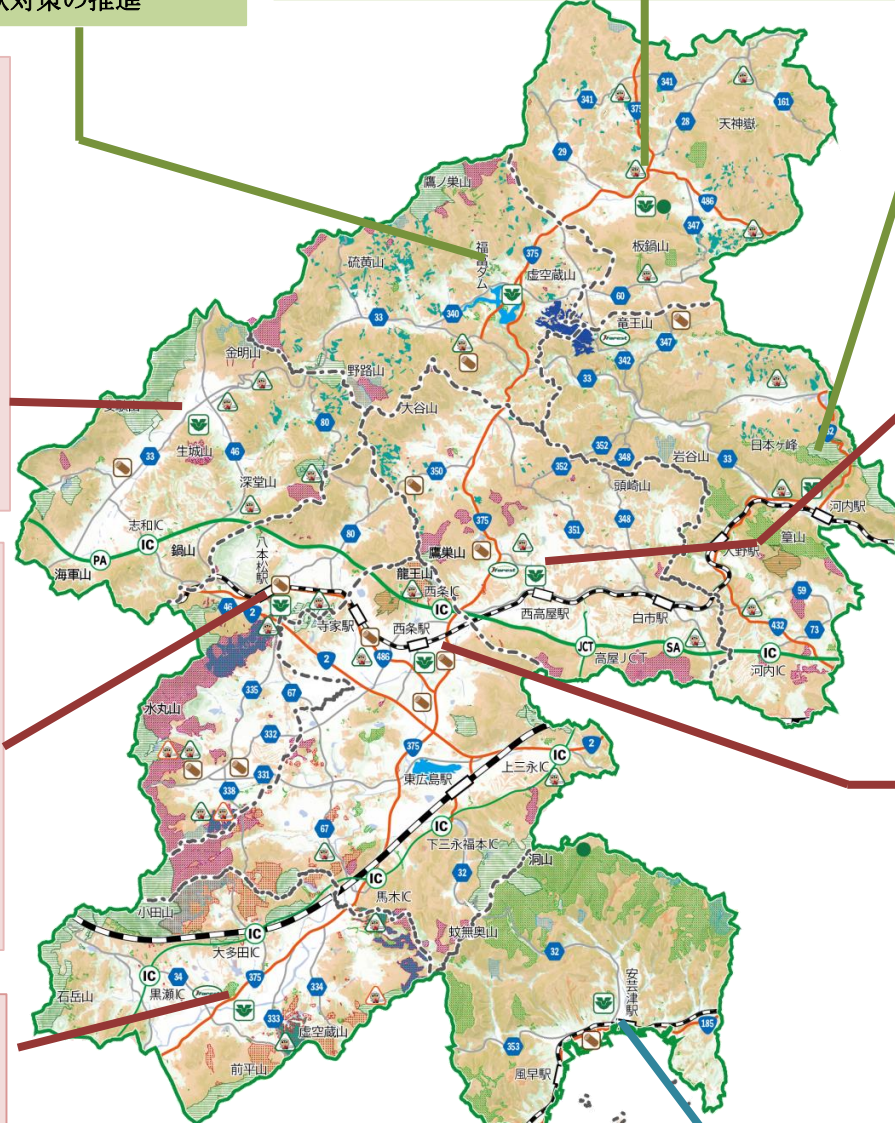
安芸津

【地域の将来像】
瀬戸内海に臨む温暖な気候と豊かな自然環境を
活かした共に支えあう共生のまち

方向性: 企業との連携による市有林をはじめとした
森林資源と海洋観光資源の活用

【地域特性を活かした取組】

- ・森林整備を通じた環境価値の創出による森林吸収源対策の推進(市有林でのJ-クレジット創出事業)
- ・里山と里海の近接性や景観を活用し、観光と連携した森林空間における森林サービス産業の推進
- ・地域材の活用による木づかいへの意識醸成と活用促進



	国有林		森林活動団体
	市有林		企業の森
	分収造林		森林組合
	森林経営計画		登録木材業者 (賀茂木材連合協議会)
	森林生産組合		
	財産区		
	地域森林計画対象民有林		